

高信頼性ICタグ

いずれ真実が

ボーイング787の電池トラブルの原因追求が長引いています。どんなものでも人が設計し、人が製造したものですから、いずれ真実が明白になるものと思います。宇佐美も半導体関係の職場に30年以上いましたが、最初は皆目原因がわからないということがよくありました。

原因がわかりませんと対策も打てませんから夜を徹して原因究明に当たります。組織的に行うのですが、原因究明まで数ヶ月かかることがよくあります。お客様に多大のご心配をお掛けすることになりますし、お客様の製品計画に大きな影響を与えてしまいます。

トラブルはその前兆がよくあります。前兆を見逃していると、不良が内在されているのに気がつかず出荷してしまうことがよくあります。社外不良で、その対策は大規模、長期化することになります。

大量のものづくりでは絶えず品質管理体制が問われます。バーコード、RFIDその他の認識技術をうまく利用することも大変重要と思っています。